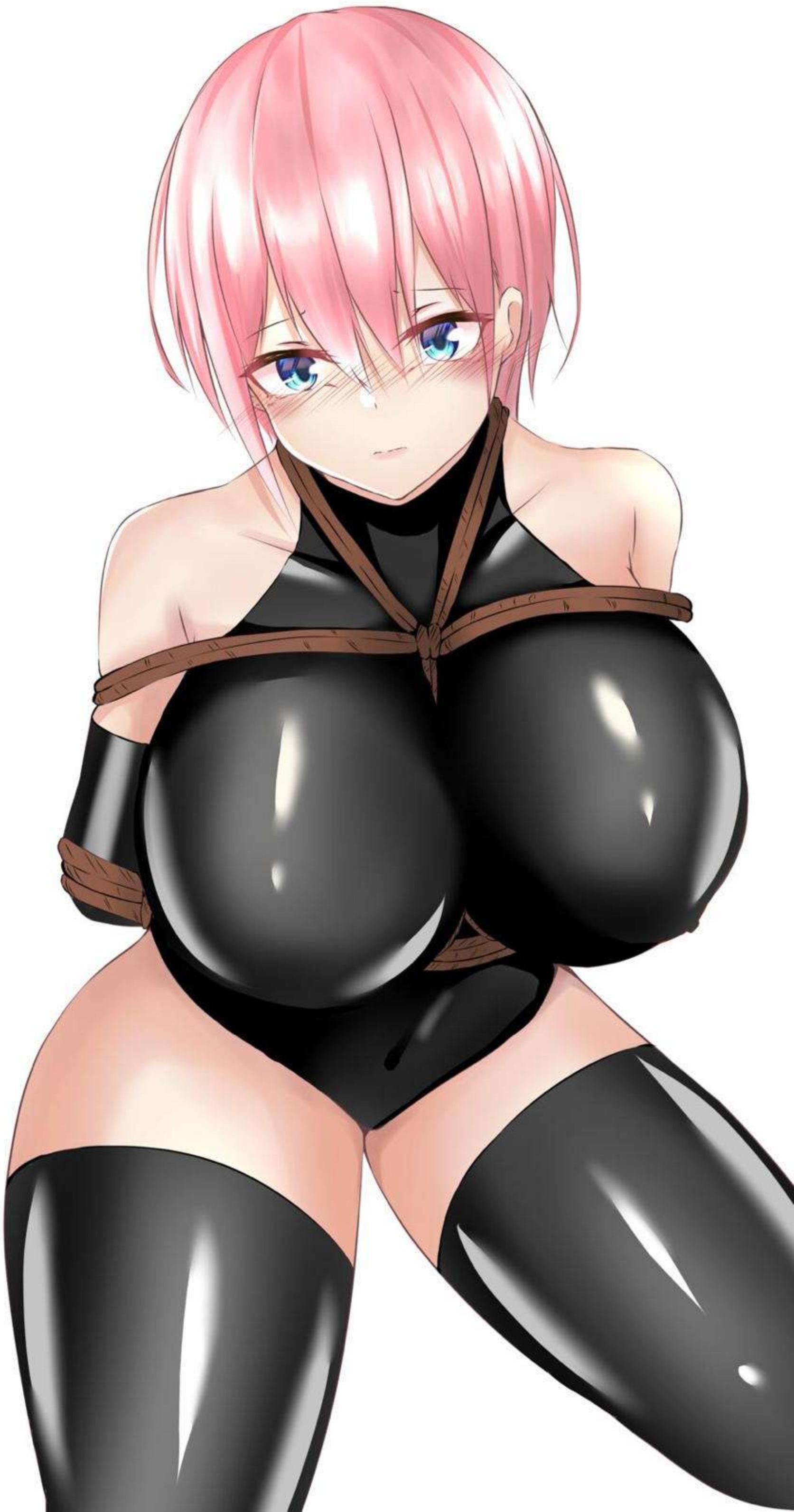
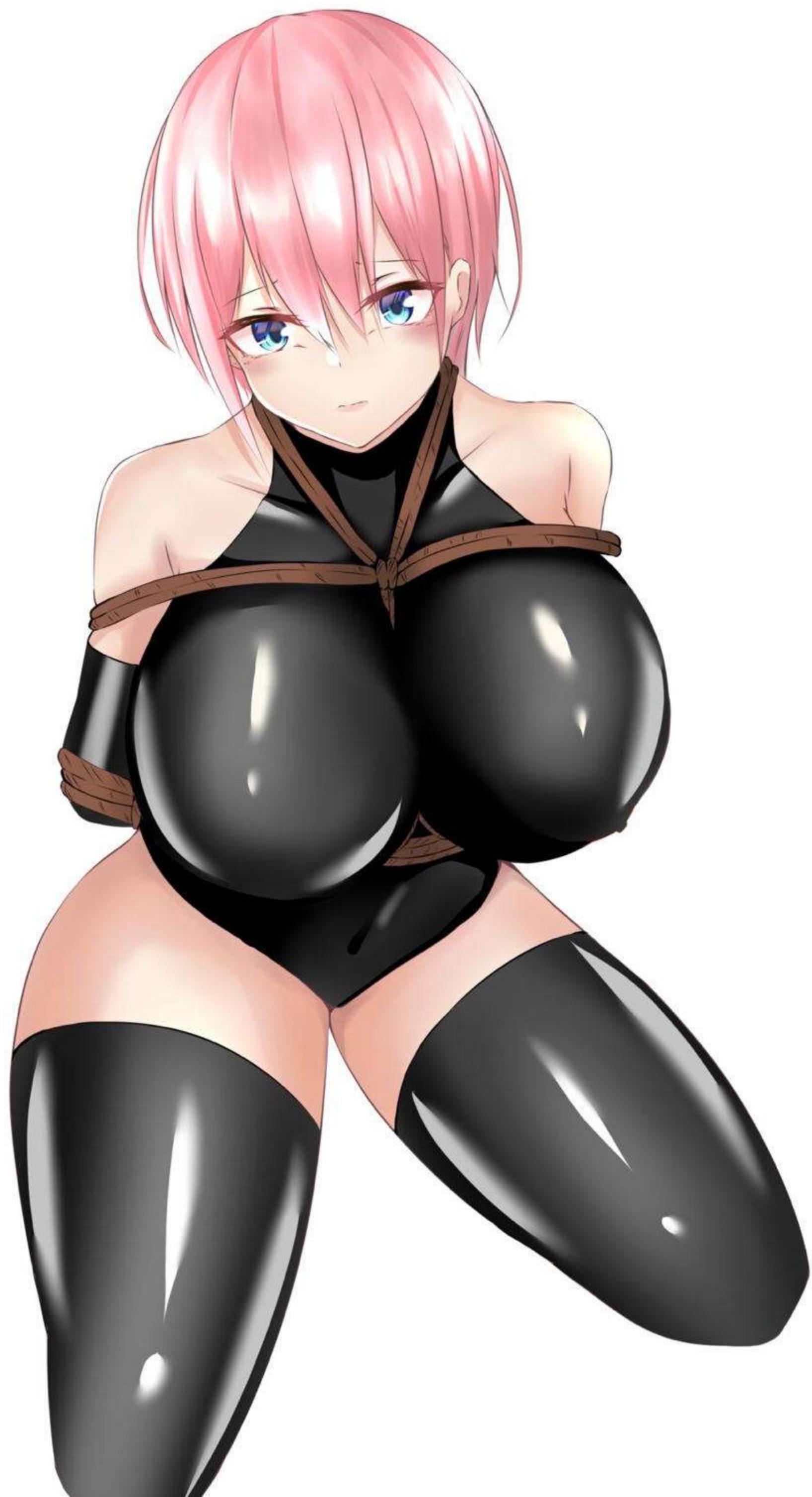


一
花
X
H
2







二乃に弱味を握られた
私はどこかの
部屋に監禁され

あらゆる方法で、
陵辱の日々を
過ごしていた

ぐ

ダッ!!

ん、

あ
ん

ぐ





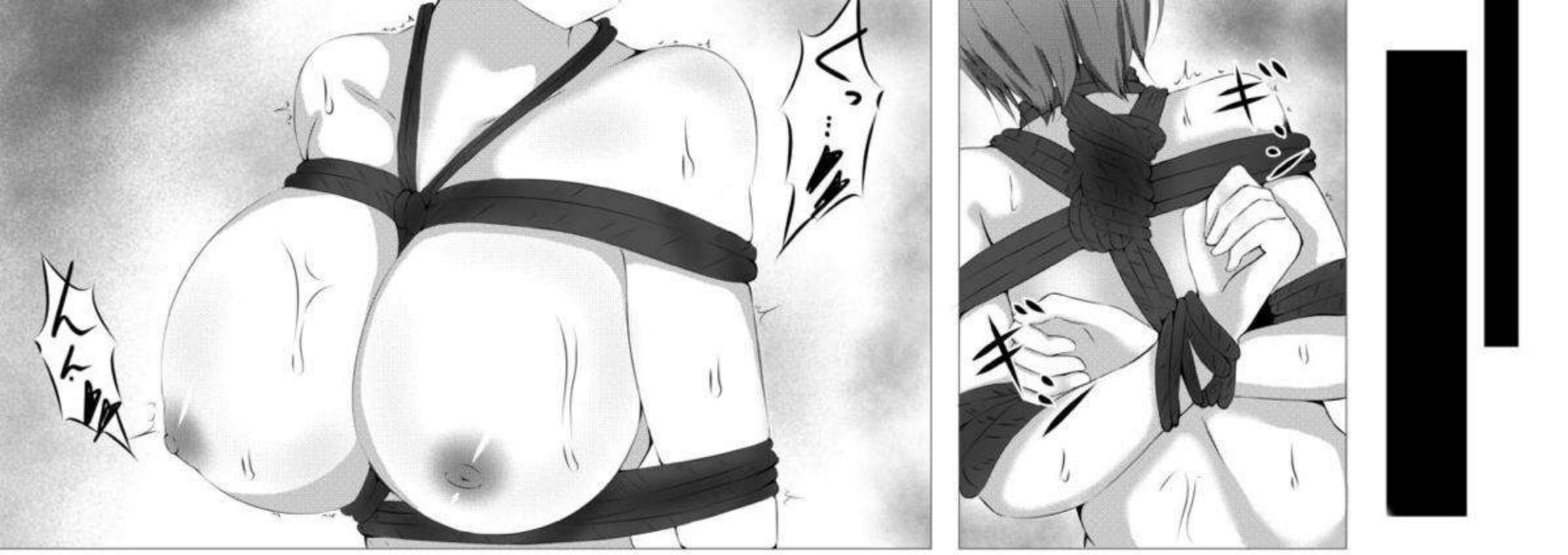
それに…

まだまだ、
一花とはやりたいことが
たくさんあるんだから



それじゃ、
今夜も
たのしみましょ？

一花が従順な雌奴隸になるまで
しつかり教育しないと





私が気持ちよくなれば
精液が出る仕組みなのよ

言つたでしょ?
一花のために
用意したものだつて

なにこれ

だから、今日は私も
気持ちよくなつてあげる

ほら、
何休んでるの?

さつさと、奉仕なさい



あら、三玖

二乃
抜け駆けは
するいよ

一花の調教は
私もするつて
言つたのに

やつほ
一花、元気？

な、何で三玖が
ここにいるの？

困惑してるよね。
大丈夫、あとで
ちゃんと説明するから

だから、

クスッ、

ジャラ…

今は、
楽しもう？